

平成22～平成30年度

中学生議会（旧こども議会）実施結果



【平成22年門真市こども議会 概要（1/1）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
1	共生の町づくりについて	共生の町づくりについて ・いろいろな立場の人が住んでいる。	・門真市が、全ての人がなかよく、楽しくらせるようなまちになるようにしてほしい。
2	公園について	公園について ・ボールで遊びたいときにボールで遊ぶことができる公園が少なく、小さな公園はたくさんあるが、ボールを使って遊ぶことが禁止されている。学校の運動場が使える土曜日か平日の放課後のみ。 ・公園が汚くなっている。公園の遊具に落書きがされていたり、ごみ箱があふれていたたりして、汚い。	・公園に集まってきたいろいろな人がそれぞれ安心して遊んだりくつろいだりできるように、ゆっくり座ることができるベンチやそれぞれが安心して遊べるようにフェンスを設置する。 ・公園の遊具に説明をつける。 ・公園のごみ箱を増やす。または、ごみを持ち帰るようにする。
3	安心・安全なまちづくりについて	安心・安全なまちづくりについて ・街頭での犯罪を減らすにはどうすればいいか。 ・古川橋の駅の近くなどで、道を歩いていると、駐輪場以外にも自転車がたくさん置かれていて、ぶつかりそうで怖い思いをする。	・街灯をもっと多くつけたり、防犯カメラを多くの場所に設置することや、人通りの少ない場所を少なくするような街作りをする。 ・未成年がタバコを買えないように、自動販売機でタバコを買うには、タスポが必要であるのに、そのタスポを簡単に未成年に貸す成人がいるので、そのようなことを無くしていく必要がある。 ・市民みんなが仲良くなり、楽しい市民生活を送れるようになると犯罪が減っていくので、社会全体が明るくなるような行事や催しなどを積極的に行っていく。
4	緑について	緑について ・緑が少ない町である。 ・町の色はねずみ色とか黒っぽい色が多く、植物の緑色は隣の小学校や公園などに、少しずつしかない。 ・車がたくさん通っていて、道の近くは排気ガスが多そう。	・建物の屋上に緑を植えたり、グランドや公園を芝生にしたりして、町をおおっているコンクリートの上に植物でおおう。 ・自分の家や学校で、花や植物を育てるようにする。 ・自由に参加できる、植物を植える活動やイベントを企画する。
5	ごみ問題について	ごみ問題について ・落ちているゴミが多い。道路にタバコの吸殻やガム、ペットの糞、おかしのごみが落ち、袋に入れられているゴミが道路に散らばっていることもあり、夏の暑さで、においを放っている。 ・川には自転車やバイクが捨てられている。	・一人ひとりが意識し、一人ひとりが協力する。短くなった鉛筆にはキャップを付けて長く使えるようにし、道にゴミを増やさないように、お菓子のゴミなど、近くにゴミ箱がない時は、持ち帰るようにする。 ・友だちがポイ捨てしようとしたら注意する。ペットを飼っている人は、飼い主として責任を持って後始末をさせる。

【平成24年門真市こども議会 概要（1/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
1 教育	教育と文化について	<ul style="list-style-type: none"> ・門真の文化が分からない。 ・門真の歴史が分かりにくく、周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を知るために図書館がもっとあるべき、門真の文化についての本があったらいいのではないか。 ・門真の歴史をもっとアピールしていけばよい。
2 まちづくり	公園について	<ul style="list-style-type: none"> ・公園はボール遊び禁止や水を飲みたくても水道が止められている、ゴミがいつも散乱している。 ・公園が狭い。公園で思いっきり走り回れない。野球やサッカーなどのボール遊びができない。 ・公園に行く時に、犬のフンや放置自転車が多く、安心して移動することができない。また歩道が狭いところやガードレールのない道路が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さをしのぐための屋根や囲いがついた休憩所を造ったらいい。 ・公園だけでなく、その周りの道路についても、きれいにしていく。 ・公園に色をぬったり、記号を使ったりして、小さい子どもやお年寄り、門真に住んでいる外国人の方にも見てすぐわかるような地図を作ればいい。 ・災害時に学校より近い公園に避難した方がいい場合もあるので、必要な防災グッズなどを設置すればよい。
	門真の安心・安全について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備面では、「街灯が暗い、あるいは消えかけているところがあって、夜、塾の帰りなどに歩いていて少し怖い」「カーブミラーが壊れていたり、『子供飛出し注意』と書いてあるところにカーブミラーが付いていないので危ない」「歩道の真ん中に電柱が立っていてぶつかりそうで危ないところがある」「ガードレールがへっこんで壊れたままになっているところがある」「道路で段差があるところがあって、自転車に乗っていて危ない」があげられる。 ・マナー面では、「交通ルールを無視して自転車を運転している人がいて危ない」「夜、ライトをつけずに結構なスピードで自転車に乗っている人がいて危ない」「公園で危険な遊びをしている人や、女の子に声をかける不審者がいたり、中学生・高校生が喫煙している姿をよく見かける」「痴漢やひったくりが多い」「コンビニの前でたむろしている中学生・高校生がいて、少し怖い」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「街灯を点検し修理する」「街灯を増やす」「カーブミラーが必要な場所を確認して付けていく、あるいは修理していく」「警察のパトロールを増やす」「自動販売機でタバコを売らないようにする」「ひったくり防止カバーをみんな付けるようにする」「大人や先生がもっと注意する」「大人が手本を見せる」

【平成24年門真市こども議会 概要（2/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
3 福祉	お年寄り、身体の不自由な方について	<ul style="list-style-type: none"> ・門真のまちにも目や耳の不自由な方や身体の不自由な方がおられるので、機会があれば、お手伝いをしたいが、どのようにお手伝いすれば、良いかわからない時もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の不自由な方がどのようなことで困っているのか、どのようなお手伝いをして欲しいのか、どのようなお手伝いの仕方が良いのかということを知る機会、身体の不自由な方のことを知る機会として、誰でもが気軽に参加できるような公開講座を企画すればどうか。
4 環境	ごみ問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・道端によくごみが捨てられているのを目にしている。たばこの吸い殻や、お菓子の袋、花火など遊んだ後のごみがたくさん捨てられている。 ・川にもごみが捨てられていて、汚れてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識してごみを分別したり、ごみはごみ箱に捨てるなど、ちょっとした行動を推奨する。 ・地域の清掃活動に参加したり、家でもごみの分別をしたり、ごみはごみ箱に捨てるよう心がける。

【平成26年門真市こども議会 概要（1/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
1 教育	英語教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の必要性が高まり、経済の中心国や世界の国々の多くが英語を使い、英語の需要が高くなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市では英語のプレゼンテーションコンテストで入賞した中学生が海外へ留学するという事が行われているが、対象が中学1年、2年と狭いので、広げてみてはどうか。 ・一般向けの国際的な行事がより増やせばどうか。例えば、海外留学だけではなく、門真市に住んでいる外国人と地域住民との交流する行事を増やす。
	図書館施設の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の使用で不便に感じる人が多い。例えば、本の場所が分かりにくく、見つけるのに時間がかかる。また、本を読もうと思ったら席が空いていない、通路がせまくて通りにくい。 ・利用者に若い人が少ない。図書館に行かなくても本で調べなくても、パソコンやケータイで、簡単に調べることができるためである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にCD、DVDを見る部屋を設けたり、年齢に応じた本に分けたりすればよいのではないか。 ・勉強会を開いたり、休みの日などに長く勉強できるように飲食スペースを作ったり、わからないことを調べるためにパソコンを増やし、自習室をより良くしていくのはどうか。
2 まちづくり	便利できれいな町について	<ul style="list-style-type: none"> ・夜に暗い道や幅が狭く、車と自転車がぶつかりそうになる道があり、とても危ない。 ・大きな病院や施設が集中しているため、老人の方が使いにくく不便であり、田んぼばかりで交通が不便な地域もあるなど、発展の差が大きすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや、高齢者が過ごしやすいような便利なまちになって欲しい。
	歩道について	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道がないところや、歩道があっても狭いところが多くあり、自動車が通ると、歩くスペースがなくなり、自動車が通らないときに、急いで通るなど、大変危なく不便。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者、障がいをお持ちの人など、安全に安心して道路を利用できるよう、歩道がないところには歩道をつけていただき、歩道はあるけど狭いところでは広くして欲しい。
	公園について	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市には、ボール遊びができる公園がほとんどない。学生はボール遊びも楽しめる広く安全な公園が欲しい。 ・ポイ捨てされたごみが目立つところや、遊具が安全なものかどうか不安になるところもある。 ・木が多すぎて、周りからの様子が見えず、痴漢などの被害に合ってしまう可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花などで心がいやされる公園や散歩の途中などに休憩をしながら気持ちよく過ごせるような公園をつくる。 ・ダイエーの跡地を利用して、ボール遊びや老人の方々に気持ちよく過ごしてもらえるような、広く安全な公園を作ってはどうか。 ・公園にごみ箱を設置し、ポイ捨てを少なくしたり、見晴らしの良い公園や遊具を安全に使えるような公園をつくる。
	防犯について	<ul style="list-style-type: none"> ・塾の帰りなどに一人でいると、人があまりいないところを通る時に暗く、怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯を増やして少しでも安全な道を増やす。 ・痴漢や万引きなどの対策に防犯カメラの設置を増やしたり、私服警官など防犯パトロールを増やしてはどうか。
	交通安全対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車で道を曲がる時、人とぶつかりそうになる。カーブミラーがあまり目立たないので、どこにあるかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門真から事故を減らすために、イメージキャラクターであるガラスケを看板などで活用してはどうか。

【平成26年門真市こども議会 概要（2/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
3 福祉	地域福祉の啓発推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい者や高齢者には道がデコボコしていて車イスが進みにくかったり、手動の車イスが道路を渡り切れなかったり、階段の段差が高くて、登りきれない人がいる。 ・道が交差する所で自転車に乗っている人が、ベビーカーや車イスの人に気づかず接触し、ケガをしてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車イスの人やベビーカーの人でも通りやすいように段差をなくす。駅などの階段は近くにスロープと手すりをとりつける。 ・目の見えない人のために大きな道路や事故の多い危険な道の信号に音をつける。 ・放置自転車は多い所を中心に看板やポスターをはって呼びかけをすればどうか。 ・ベビーカーや車イスに気がついた時や角をまがる時、ベルをならすように心がける。
	高齢者の就労推進と働く母親支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限があったり、資格がないとできないものが多く、働ける時間に制限があったり、期限があったりで、思うような仕事を見つけにくい。 ・子育て中の母親は一人にできないので仕事に行きにくい、働きにくい。 ・仕事が忙しすぎて、自分の生活がままならない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の方は、高齢者の力を借り、活躍していただくとよい。 ・仕事が多い人の仕事について、仕事をしたいと思っている人に分ければいいのか。 ・資格を持っている人を中心にその人を取り巻く仕事の一つひとつを細分化していけばいいのか。その中で資格がなくてもできる仕事などを、もっと働きたいと思っている高齢者の人に任せたらいいのでは。
	学校施設の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・地震などの自然災害がおきた時、避難所になるのは学校だが、設備が整っていない場合が多い。特に体育館の周りの段差や階段、トイレでバリアフリー化が進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差や階段の近くは スロープと手すりを取り付け、バリアフリーのトイレを増やす。
4 環境	ポイ捨てについて	<ul style="list-style-type: none"> ・公園やバス停にはごみがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や信号の近く、バス停にごみ箱を設置して欲しい。 ・清掃ボランティアの活用をして、今よりももっと呼びかけをしてみたり、ポスターなどを増やしてみたりしたらいいのではないか。
	学校と地域での集団回収の奨励について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生徒会活動で、壊れたウォータークーラーを皆で買い換えようと、古紙回収に取り組んでいる。市内で、もっと集団回収を行えば、ごみの意識が高まり、地域の人とも交流できるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市とコンビニエンスストアが協力し、空き缶やペットボトルを持って行ったら、何蓮かが返ってくるようにしたらいいのではないか。 ・私たちも学校を通じて、地域の人たちと集団回収に参加して、みんなの意識を高めたいので、奨励してはどうか。
	電線の地下化について	<ul style="list-style-type: none"> ・電線が多すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電線を地下に通すことで、空が見えやすくなるので 門真市が明るくなる。
	受動喫煙について	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこの吸い殻も多く、受動喫煙の被害も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙禁止条例を定めることで、受動喫煙を減らしたらいい。

【平成28年門真市こども議会 概要（1/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
1 教育	市立総合体育館について	・市立総合体育館が新しくできるので、興味がある。	・市立総合体育館を活用して、たくさんの方が交流できるイベントを開催すればよいのではないかと。
	歴史資料館について	・門真市の歴史探究のイベントを開催しているが、中学生に対して認知が低く、ほとんど周知されていない。	・このようなイベントがあることは、生徒にも知らせていくべき。
	土曜日の自主学習について	—	—
	学校の取組や授業の工夫について	・学校に通学するにあたり、体が不自由で車いすを使用している人は、移動が大変であったり、外国人は言語の壁がある。	・様々な子ども達が学校に通うための工夫が必要。 ・どんな人でも楽しめるような学校をつくる必要がある。
	勉強について	勉強が分からない人がいる。	勉強が分からない人でも、分かりやすく、楽しく授業に参加できるようにする必要がある。
2 まちづくり	市が主体のイベントについて	・まちづくりには、イメージが良くなったり、人と人が仲良くなる必要がある。	・昔行っていた「門真まつり」を再び開催して欲しい。 ・祭りには外国人向けの屋台や門真レンコンを使った屋台を出店したらどうか。
	公園について	・小さい公園が多く、ボール遊びができない。 ・公園にトイレがない所がとても多く不便。 ・公園にゴミ箱がないため、ポイ捨てが増え、ゴミが散乱している。	・のびのびとボール遊びができる大きい公園を整備して欲しい。 ・トイレやゴミ箱がないので、トイレ及びゴミ箱の整備もお願いしたい。
	道路状況について	・市内の道路は、歩道の幅が狭かったり、見通しが悪かったりする道路が多いことが、歩行者どうしの接触や自転車との接触の原因となっている。	・安全を確保するためにも道幅を拡張できないか。 ・標識やミラーの設置も増やすことができないか。
	防犯について	・習い事や遊びから帰るときに、夜道が暗くて危ない。 ・道が暗いことで、ひったくり、交通事故、ちかんなどが起きる可能性がある。	・防犯灯を増やすと、ひったくりなども減るのでは。
	自転車の安全利用について	・自転車に乗りながら、イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作している人が多く、危険である。	・このような行為を減らす取組はしているか。

【平成28年門真市こども議会 概要（2/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
3 福祉	地域社会の交流について	・地域社会の交流が不足しているため、孤独死が発生している。	・市民の交流を深めるために、小さな子どもや、高齢者、障がいのある方々も参加しやすいイベントがあればよい。 ・旧第6中学校の運動場や体育館などを利用し、バザーや音楽、スポーツなどといったイベントをすれば、みんなが参加しやすいのでは。
	福祉の立場から見た市内の安全について	・市内に細い道が多く、街灯やカーブミラーが少ない。道路で自転車事故が起きている。 ・道路の段差やデコボコが多い。点字ブロックの量が少ない。	・道路の段差やデコボコを減らす。 ・目の不自由な方も安全で外が歩けるように点字ブロックを増やすのはどうか。駅や大型ショッピングセンター、バス停などの誰でも使う場所には、もっと点字ブロックを配置すべき
	こどもの安心・安全な居場所づくりについて	・放課後児童クラブについて、児童福祉法の改正により対象年齢が拡充されたが、高学年の児童が勉強する時間に低学年の児童が遊んでいるため、現状としては勉強に集中できない環境がある。	・教室を増やすなど、高学年をふくむ全児童が充実して過ごせる場所としての対策が必要。 ・障がいを持っている子どもが快適に過ごせる居場所や、いじめなど様々な理由で、学校に行きづらくなっている子ども達のための居場所があれば、みんな勉強がしやすくなるのでは。 ・学校以外でも子どもたちにとっての、安心・安全な居場所づくりが必要では。
4 環境	鳥獣被害(カラス)について	・家庭用のゴミ袋をカラスがつつき、ゴミ捨て場にゴミが散乱している箇所が多い。 ・カラスだけではなく、タバコのゴミも多い。	・一つひとつのゴミの場所に青いネットを設置したら少しは、カラスの被害を受けずにすむのではないか。 ・タバコのゴミなども簡単に道路に捨てないように呼びかけることも必要。 ・ポスターを貼ったりして少しでも、まちにゴミが多くならないように改善していけたらいいと思う。
	ゴミのポイ捨てについて	・道路にタバコやゴミのポイ捨てが多い。	・定期的なクリーンアップ活動を行っているが、ゴミ拾いだけではポイ捨ては減らないので、市民全体で取組めるイベントを開催するのはどうか。
	門真市の水道料金について	・門真市は、浄水場がなく、大阪府から水道水を買っており、水道料金が高い。 ・門真市の水道料金は大阪府43市町村の中で37位であり、他と比較しても高い。	・生活環境の改善や水道料金の削減のために門真市にため池や浄水場を造るのはどうか。そこで、レジャー施設として、釣り堀を造り、利益を浄水場の維持費にまわしてみてもどうか。
	治安改善について	・細く街灯のない道が多くあり、よく不審者が溜まっている。 ・ひったくりや、自転車の盗難多い。	・自転車の盗みとひったくりに関する対策と合わせて、不審者についても私たちが安心できるよう、効果的な対策が必要

【平成30年門真市中学生議会 概要（1/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
1 教育	こどもたちの教育環境づくりについて	・門真市の学力が他の市町村と比較して、低いと感じている。その原因として、門真市の教育環境が悪いと考えられる。	・勉強できる環境及び息抜きの両方が整った教育環境が必要である。（新設した総合体育館を活用する等。）
	学校における人間関係、特にいじめの問題について	・いじめ問題への対策が必要である。	・道徳の授業でいじめについての内容を取り上げる。（人との付き合い方、いじめの減らし方、他人を尊重する考え方等） ・SNSを活用したいじめ相談の窓口を設置する。
	小学校・中学校における授業について	・学力向上のために「わかる」を発見し、「楽しい」と思える授業に改善する必要がある。	・板書や教材の削減、授業効率の改善を目的としたICTの活用を行う。また、ICTを早段階で身に付けることで、今後の情報化に対応した学生の育成に貢献。 ・ある課題をグループで協力し解決することで協調性や社会性を身に付ける授業や少人数制の授業を増やし、こどもと先生が関わる時間を増やすことも必要である。
2 まちづくり	道路の拡幅について	・門真市には狭い道路が多数ある。	・歩行者と車両が安全に交通できるように道路の拡幅を行うことや標識や信号機がない交差点が多く、事故防止の観点から道路整備をお願いしたい。
	自転車の安全運転について	・自転車が関わっている交通事故が多く、その原因の約7割は、安全運転義務違反である。	・自転車に対して交通ルールを学ぶ機会を増やし、市民の意識の改善につなげていきたい。
	災害時の対応と防災意識の向上について	・災害時の対応で避難場所等の方針や行動が分からない。	・防災意識の向上として、こどもからお年寄りまで学ぶことができる防災教室の開催が必要ではないか。
	河川や水路の環境対策について	・門真市の河川や水路がかなり汚染されている。	・川の汚れの原因となる『チソ』や『リン』などを吸収する植物を川の近くに植えることや川の中に砂利を敷くことで、水をろ過する効果を高めて浄水場の負担を軽減する方法が考えられる。

【平成30年門真市中学生議会 概要（2/2）】

テーマ	質問項目	課題部分	提案部分
3 福祉	障がいのある人に対して関心と理解を持つことについて	・障がいのある人が安全に暮らせる町にする必要がある。	・障がいのある人が中心としたイベントをすることで、周りのことに関心を持てるようにする。そうなれば、助け合いもできるし、いろんな人が安心できるようになるのでは。
	高齢者との関わりを増やすことについて	・門真には、小中学生と高齢者の関わる機会があまりない。	・高齢者が体験談などの話をするので、小中学生が興味を持ち、これからの門真について、考えることができる環境にも繋がるのでは。 ・中学校で『あいさつ運動』を行っているのと同様に、地域で何かイベントなどを行うことで関わりを増やすことで、地域の活性化に繋がるのでは。
	障がいのある人や体の不自由な人が住みやすい町について	・駅前の放置自転車が多い。体が不自由な方には移動が大変である。	・放置自転車をなくすために街中に自転車貸し出し拠点を設置し、どこの貸し出し拠点でも、自転車を借りたり、返したりできる「コミュニティサイクル」を取り入れてはどうか。
	災害時の高齢者等の安否確認について	・6月18日に発生した大阪北部地震や7月の豪雨などの自然災害が、最近目立っています。各地域でも混乱状態に陥った。	・近所毎にグループをつくり、そのグループ内の連絡網の構築してはどうか。
	健康について	・若い人が検診を受けることができる体制が整っていない。 ・健康に無関心な人が多い。	・健康診断について、幅広い人が検診できる体制を整えてほしい。 ・多くの人が健康に関心を持てる取組を検討してほしい。
4 プロモーション	SNSの活用について	・『門真レンコン』をたくさんの人に知ってもらい、食べてもらいたい。	・SNSを活用すると良い。
	門真レンコン及びクワイのPRについて	・門真レンコン及びクワイを門真市に住んでいる人、市外の人に知ってもらう必要がある。	・地域のイベントや祭りで『レンコン』や『クワイ』などを料理し、すぐに食べてもらえるようにして、たくさん訪れた人に、食べてもらえるようにしたい。 ・市外に住んでいる人に知ってもらうためにSNSを使い、『レンコン』や『クワイ』を使った料理などを広めていけたら良い。
	幣原喜重郎のPRについて	・門真市を知ってもらいたい。	・門真市民全員が門真市出身の内閣総理大臣である幣原喜重郎を知ること、市民からの発信が期待できるのでは。
	あいさつ運動と市民同士の繋がりを深められる取組について	・門真市に住んでいる人たちが、もっと明るく楽しく過ごせるようにしたい。	・これからも、『あいさつ』を大切にしていき、一人ひとりが、この門真市に住んでいて良かったと思えるように、門真市全体で、『あいさつ運動』をしていけたら良い